

富山新聞

平成26年8月24日

## ジュニア防災検定 **挑戦**

### 県内で初実施

防災検定協会の「ジュニア防災検定」は23日、富山市の県広域消防防災センターで行われ、小中学生9が自然災害の種類や歴史、危険の回避方法などを問う筆記試験に挑んだ。

県内での検定実施は今回が初めて。小学校中学年から5年生レベルの初級、6年生から中学1年生レベルの中級の検定が行われたほか、受験者は事前課題として防災について家族で話し合ったことをレポートにまとめて提出した。

事後課題として標語や作文、防災マップなどを自由研究として提出する。合否は事前課題、筆記試験、事後課題を総合的に評価して判定し、合格者にはバッジと証書が贈られる。